

1. 科目名 (単位数)	文章表現 (2単位)	3. 科目番号	GELA1107
2. 授業担当教員	攪上 哲夫		
4. 授業形態	講義、グループワーク、演習 (論作文)、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>大学での講義及び演習 (ゼミ) では、レポートを書いたり発表したりという表現力が要求される。この授業では、大学での学習や研究に必要な「書く」技術の基礎訓練を行うことをねらいとしている。</p> <p>したがって、目標とされるのは、文学的表現や美文調の修辞等ではなく、むしろ簡潔で明快な文章の表現法である。文法・文字表記の正しき、語彙選択の適切さ、表現的的確さ、わかりやすさ、文章構成の明確さ、論理の一貫性などに重点をおいて学習する。</p> <p>本科目の授業を通じて表現力やコミュニケーション能力を養うことは、大学段階にとどまらず、今後の社会でますます重要となってくるものであることを認識する必要がある。</p>		
8. 学習目標	<p>以下について学習・理解し、レポート・論文が書けるようになることを学習目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解し説明できるようになる。</li> <li>2 わかりやすい言葉 (表現方法) で、明瞭で論理的な文章を書く技術を習得する。</li> <li>3 実践的な訓練を通して、自分の考えや意見を論理的に述べる文章表現力を身に付ける。</li> <li>4 定評のあるオピニオン誌の論文や新聞の社説などに触れ、現実の捉え方やものの見方を学ぶ。</li> <li>5 文章の読解力と文章の構成力を養い、文章表現に対する苦手意識を払拭する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業進度に沿った小レポートを課す。</li> <li>②興味・関心のあるテーマを選び、「レポートまたは初歩的な論文」を作成し、発表する。</li> <li>③論説文、エッセイ、時事問題等のレポートを課す。レポート課題は授業時に説明する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 石黒圭著『この1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本』日本実業出版社、2012。 必要な資料は、授業時に配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コメントペーパーやレポート・論文等の書き方に関する基礎的・基本的事項を理解しているか。</li> <li>2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 積極的参加 (発言、討議、発表、取り組み等) 総合点の40%</li> <li>2 レポート (小課題・コメントペーパー等を含む) 総合点の60%</li> </ol> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大学のレポート・論文は、試験の代わりに要求されることもあり、大学生にとってはその技法を知ることには重要なことである。「レポート・論文」をどのように書くのか、大学のレポート・論文の基本を知り、実践できるように指導する。1年次、この時点で、興味・関心のあるテーマを設定し、レポート・論文の書き方を学びながら「レポートまたは論文」を作成する。また、論説文、エッセイ、時事問題等を執筆する。なお、新型コロナウイルスの流行により zoom での授業に対応した場合は、授業の5分前までに端末の前に座って準備すること。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業時に連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス 教科書『論文・レポートの基本』「はじめに 論文・レポートとは何か pp. 2-7」小論文とレポート・論文の相違について理解する。	事前学習	高校までの学習を振り返る。
		事後学習	小論文とレポート・論文の相違を理解し、本時の振り返りを行う。
第2回	第1部 論文の構成 「第1章 論文の構成の考え方」pp. 14-19① 基本は序論・本論・結論を理解する。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』pp. 14-19を読み、問いを立てることの意味についての予備知識を持つ。
		事後学習	関心のあるテーマを複数選ぶ。
第3回	第1部 論文の構成 「第1章 論文の構成の考え方」pp. 14-19② 「卒業生が執筆した論文」を読み、論文の構成を理解する。	事前学習	「先行研究」「資料と方法」「結果と分析」「考察」「結論」の論文の構成について教科書より復習する。
		事後学習	「卒業生が執筆した論文」を批評する。

第4回	第1部 論文の構成 「第2章 問う-目的」 pp. 20-29 自ら立てたテーマの「問い」を立てる、問いを1文で示す、問いを絞り込む。	事前学習	教科書『論文・レポートの基本』 pp. 20-29 を読み、論文の問いの意味についての予備知識を持つ。
		事後学習	「第2章 pp. 29 課題2 より問う-目的振り返る。」
第5回	第1部 論文の構成 第3章 調べる-先行研究 pp. 30-41 先行研究とは何か、剽窃と引用の違いについて理解する。 「卒業生が執筆した論文」及び「学術論文」の先行研究を読む。	事前学習	教科書 第3章「調べる-先行研究」 pp. 30-41 を読み、先行研究についての予備知識を持つ
		事後学習	教科書 p. 41 課題3 を行い、第3章を振り返る。
第6回	第1部 論文の構成 「第4章 選ぶ-資料と方法」 pp. 42-49 質的調査と量的調査の違いについて理解する。 「卒業生が執筆した論文」及び「学術論文」の資料と方法を読む。	事前学習	教科書 第4章 選ぶ-資料と方法 pp. 42-49 を読み、量的調査と質的調査についての予備知識を持つ。
		事後学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の序論部分を執筆する。①
第7回	第1部 論文の構成 「第5章 確かめる-結果と分析」 pp. 50-56 結果を整理して論文にまとめることについて理解する。「卒業生が執筆した論文」及び「学術論文」の結果と分析を読む。	事前学習	教科書 第5章「確かめる-結果と分析」 pp. 50-56 を読み、結果と分析についての予備知識を持つ。
		事後学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の序論部分を執筆する。②
第8回	第1部 論文の構成 「第6章 裏付ける-考察」 pp. 57-60 論文における考察について理解する。 「卒業生が執筆した論文」及び「学術論文」を読み、考察の仕方を理解する。	事前学習	教科書 第6章 pp. 57-60 を読み、論文における考察についての予備知識を持つ。
		事後学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の本論部分を執筆する。
第9回	第1部 論文の構成 「第7章 まとめる-結論」 pp. 61-63 論文の構成を理解する。 「第8章 校正する-提出前の原稿チェック」 pp. 64-68 提出前の原稿をチェックすることの必要性を理解する。	事前学習	教科書第7章(pp. 61-63)、第8章(pp. 64-68)を読み、論文の結論についての予備知識を持つ。
		事後学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の本論、結論部分を執筆する。②
第10回	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の序論・本論・結論部分を執筆し、見直す。	事前学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の本論、結論部分を見直す。
		事後学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の構成全体を見直し、発表の準備を行う。
第11回	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の発表会を行う。①	事前学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の発表会の準備を行う。
		事後学習	発表された作品を批評する。
第12回	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の発表会を行う。②	事前学習	自分が立てたテーマに沿い、レポートまたは論文の発表会の準備を行う。
		事後学習	発表された作品を批評する。
第13回	論説文を書く 与えられたテーマ、及びその資料を下に論説文を書く。	事前学習	配布資料を読み、論説文の素材を集める。
		事後学習	論説文課題をレポートする。
第14回	エッセイを書く 主題を見つけエッセイを書く。	事前学習	配布資料を読み、エッセイの素材を集める。
		事後学習	エッセイの課題をレポートする。
第15回	時事問題を書く。各自、関心ある時事問題のレポートを執筆する。	事前学習	時事問題の資料を集める
		事後学習	時事問題をレポートにまとめる。